

## 10月のイベントカレンダー

日(曜日)	内容(掲載面)
1日(日)	
2日(月)	
3日(火)	
4日(水)	
5日(木)	
6日(金)	法律相談 3面 乳がん検診、骨量検査、特定健診、 歯科相談 9月号
7日(土)	
8日(日)	
9日(月・祝)	やさしい将棋教室 9月号
10日(火)	
11日(水)	
12日(木)	新今宮エリア魅力探検ツアー 9月号
13日(金)	花と緑の相談 3面
14日(土)	「ゴムとび」にチャレンジ! 4面
15日(日)	第67回 西成区民体育レクリエーション大会 1面
16日(月)	
17日(火)	法律相談 3面
18日(水)	地域結核健診 (もと今宮小学校運動場) 2面
19日(木)	
20日(金)	不動産相談 3面 大腸がん検診、肺がん検診、特定健診、 歯科相談 3面
21日(土)	みんなの健康展 1面 地域結核健診(西成区役所東側) 2面
22日(日)	日曜開庁 1面
23日(月)	
24日(火)	フードドライブ (子供服・ベビー服の展示提供)
25日(水)	
26日(木)	乳がん検診、骨量検査 3面
27日(金)	
28日(土)	
29日(日)	西成しごと博物館 1面 えいごであそぼう! 4面 ガレージセール 12面
30日(月)	
31日(火)	

## 10月にしなりのジャガピーパーク

6月11日から、もと津守小学校・幼稚園での開催は中止しております。

開催日、開催場所はにしなりジャガピーパークのホームページをご覧ください。

**問合せ** 保健福祉課  
(子育て支援)  
5階52番窓口  
☎06-6659-9824



## 区長の部屋 時を惜しんで

五感というように人には視・聴・嗅・味・触の五つの感覚がありますが、時の長短を計る感覚はありません。子どものころは1日がずいぶん長く感じたのに、年齢とともに1日どころか1年があつという間にすぎます。10年前に初めて西成区長として着任しましたが、この間も瞬時のようです。

晩秋の黄昏のように時間が過ぎることを痛感する昨今、少し焦りつつ時を惜しんでいろいろな課題解決に励まなくてはならないとあらためて思っています。

区政や区長に対するご意見、ご感想をお待ちしています。通常3営業日以内のご返事を心がけています→nishinarikucho@gmail.com



西成区長 **とみなが まさひろ** 正廣

## 地域で取り組むSDGs

### みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト

#### ●どんな取り組み?

大阪市では、使い捨てプラスチックである「ペットボトル」をボトルからボトルなどへ資源循環させるため、新たなペットボトル回収に取り組んでいます。

この取り組みは、資源ごみとして家庭から出されるペットボトルを、地域コミュニティと参画事業者が連携協働して回収し、売却益を地域コミュニティへ還元するものです。プラスチックの資源循環を進め、地球環境を守ることに繋がしましょう。

#### ●取り組んでいる地域の声を聞いてみよう!



梅南連合振興町会 山上会長

梅南連合では、令和4年4月よりこのプロジェクトに参画しています。普段資源ごみで出しているペットボトルを水洗いしたうえで、キャップとラベルを外して出すだけなので、子どもから高齢者まで誰でも取り組むことができます。地域が一体となってSDGsに取り組んでいるということは、大変意義のあることです。これからも、皆さまと協力しながら取り組んでいきたいと思ひます。

**問合せ** 市民協働課 7階73番窓口 ☎06-6659-9734

今回のテーマは「子どもの人権」です。

## 人権コラム

### “寄り添う”をキーワードとした子どもの居場所づくり

著 由美子さん(一般社団法人 子どもの居場所 まーる 代表理事)



#### きっかけ

9年前、地元の中学校が落ち着かない状態となり、民生委員を含めて複数人が日常的に見守りに入ることになりました。授業中なのに騒がしくするなどの状態で、とても衝撃的でした。

ある日、ふと子どもたちを見て「この状態をいばば残念に思っているのは子どもたちではないだろうか」、「子どもは、なんともできない大人を見て、信用も相手もしてないなあ」と感じました。同時に「子どもの声を聞く、子どもたちに話しかけてもらえる大人としていなければならない」と強く感じたのです。そこから私たちの見守り方が変わりました。

#### 寄り添う見守り

まずは、子どもたちと話せる機会を見つけます。例えば、とれかけのボタンを繕いながら「どうしたの?」とゆっくり話を聞きます。繰り返し何度も。そうする中で、経済的な問題や家族関係の問題などを抱えている子がいることが見えてきました。問題の解決はできないけれど、しんどい気持ちを聞くことはできます。子どもたちに寄り添いながら接していると、やがて心を開いてくれ、苛立ちのときのクールダウンに付き合わせてくれるようになりました。

#### 子どもの居場所「まーる」の誕生

寄り添うことで子どもの心が開くことを実感した私たちは、学校でも家庭でもない子どもの居場所を作ろう!と、2016年7月「子どもの居場所まーる」を誕生させました。子どもが苛立つ原因に空腹があると思っており「まずはお腹を満たしたい」と子ども食堂の形態をとり、毎週金曜日に無料で食事提供を行いました。「ここを10年は続けよう。子どもたちも大人になるし、同じ地域のメンバーになるものね」と元気にスタートしました。

#### 寄り添うが基本の活動

“まーる”は、小さい台所のある2部屋続きの小さなお家。40人を超える子どもたちがきて、みんなでカードゲームや宿題をします。17時頃にみんなでご飯を食べ、またみんなで遊ぶ。スタッフも同じ時間を共有するので、いつでも子どもたちの話を聞くことができます。揉め事があれば、すぐに双方の言い分を聞き解決をはかります。それはだめ・してはいけない、ではなく、どうしたらいいと思う?という言葉がけで。ここでも“寄り添う”が基本です。

ある頃から、就学前のお子さんを連れてお母さんたちが来てくれるようになりました。話していると、お母さんたちの生活もゆとりがある様には思えません。親が元気で明るいことが子どもにとって何よりも大切なので、気楽に話ができる場だけでなく、お母さんたちの悩みが少しでも解消できるようサポートすることで、今ではお母さんの居場所にもなってきました。

#### 居場所活動から広がるもの

スタッフも増えました。子どもが不登校だった人。早くに母親と死別された人。子どもや保護者の悩みを沢山聞いてきた人。「そうだね」と自然に言える人。

皆さんが“まーる”に来られた方と接するときには、子どもや親御さんの状態を見て“あの日の自分”にそっと寄り添うようにお話を聞いています。優しくされた経験がないと、人に優しくすることは簡単ではないと思っています。

今、お付き合いをしている子どもや親御さんが少しでもゆとりができ、そして悩みを抱えた子どもや親御さんの傍らに立つとき、「どうしたの?」と話しかけてくれるのではないかと期待して、いつもの曜日にいつもの場所で、活動を続けていきます。

#### 一般社団法人 子どもの居場所 まーる

所在地 西成区玉出東2-9-33  
連絡先 090-3622-2889  
okaeri.ibasho.maru2016@gmail.com  
※コロナ禍は、食品配付に切り替えた活動を実施。  
最近は少しずつ会食活動を再開しています。  
詳しくは、お問い合わせください。

